



# 「援助要請の視点から考えるスクールカウンセリング」

— 子どものSOSの出し方を尊重する援助 —

講師：水野治久先生

## 講師紹介

大阪教育大学副学長、学校教育学研究科（博士後期課程）主任・教授。博士（心理学）。公認心理師、学校心理士SV、臨床心理士。

一般社団法人 大阪公認心理師会会長、および日本学校心理学会、日本コミュニティ心理学会などの理事を務めるほか、2024年には「みらい教育共創館」の開設に関与し、産官学連携を通じた新たな教育の創造に取り組まれている。

専門分野は学校心理学で、援助要請、被援助志向性、学級経営、外国人児童・生徒の支援など幅広く研究を進められている。

著書には、『子どもを支える「チーム学校」ケースブック』（金子書房）、「事例から学ぶ 心理職としての援助要請の視点:『助けて』と言えない人へのカウンセリング」（金子書房）、「援助要請と被援助志向性の心理学: 困っていても助けを求められない人の理解と援助」（金子書房）、「速解チャート付き 教師とSCのための カウンセリング・テクニック5 『チーム学校力』を高めるカウンセリング・テクニック5 『チーム学校力』を高めるカウンセリング・テクニック5 『チーム学校力』」（ぎょうせい）など、援助要請、チーム支援に関する著書が多数。

2025年8月31日（日）

10:00～16:00（休憩1時間）

参加費 9,500円

## 講義内容

今回の講義では、水野先生の専門分野でもある援助要請の視点からみたスクールカウンセリングのあり方についてをご講義いただきます。「チーム学校」の一員であるスクールカウンセラーとして援助要請をどのように捉え、チームで子どもたちの援助につなげていくのかは、学校臨床を実践していく上において重要です。先生方との協働体制においても必要な援助要請の視点をお話ししていただきます。

## お申込み方法

メールフォームに下記の項目を明記ください

**※締切：2025年8月17日（日）**

申し込み先：下記のメールフォームもしくはQRコードより  
<https://forms.gle/2pbwEBPLvhRNdykL8>

- ①メールアドレス（容量の大きい資料添付できるもの）
- ②氏名 ③フリガナ ④職種 申し込みQRコード
- ⑤居住地・勤務地
- ⑥臨床心理士番号（ある方のみ）
- ⑦このセミナーを知られたきっかけ



問い合わせ先  
なら思春期・不登校支援研究所 研修担当栗本  
[sayurikuri@gmail.com](mailto:sayurikuri@gmail.com)

なら思春期・不登校支援研究所とは…

本研究所は、子どもたちを支える保護者や、教員・スクールカウンセラーなどの専門職をサポートするための研修の機会を提供します。職種や立場を超えて、みんなで学び支援の輪を広げていくための、拠点の一つとなれるこことを目指しています。

アドバイザー：

伊藤美奈子・粕谷貴志  
栗本美百合・阪中順子・相馬誠一  
竹下三隆・良原恵子（五十音順）



\* オンデマンド配信は致しませんのでご了承ください

\* 臨床心理士資格更新ポイント申請予定

\* 振込先は、お申し込みの後、メールにてお知らせいたします。